

JBA公認C・D級ライセンス更新講習会 開催要項

主催	一般財団法人 北海道バスケットボール協会
主管	北空知地区バスケットボール協会
日時	2021年 6月 5日(土) 9:00～ (受付 8:30～随時)、6月 6日(日) 9:30～ (受付 9:30～随時) ※開始時間は参加チーム数により変更になる場合があります。割当て配信時にご確認をお願いします。 ※いずれか1日の1ゲームを担当してもらいます。
目的	C・D級審判員対象の本年度、次年度C・D級ライセンスでの活動及びライセンス更新に向けての講習会であり、審判技術の理解・確認を行うことを目的とする。
会場	深川市総合体育館 深川市6条21-1
内容	実技 ※深川市連盟U-15大会を使用
講師	北空知地区バスケットボール協会 審判委員会 河原 康利(JBA公認3級インストラクター) 他
参加対象者	北空知地区バスケットボール協会所属で、JBA公認C・D級審判ライセンスを保有し、 TeamJBAのC・D級ライセンス更新講習のEラーニングで講義、ルールテストを受講し合格済みの方に限ります。 ※18歳未満が受講する場合は、保護者の承諾を必要とする。 (申込確認後「承諾書兼依頼書①(保護者用)」を配布しますので、記入後、審判委員会へ提出してください)
申込み方法と流れ	① 別紙の申込表に入力し、メールにて北空知審判委員会へ申し込む。 ※5月21日〆切 期限厳守 ② 集約後、審判割作成し、参加者へメール配信します。※大会1週間前を目安に配信予定です。 ③ 当日、担当ゲームの45分前を目安に会場入りをお願いします。 ④ 体育館にて受付、検温 ※健康チェックシートの提出も合わせて行います。【添付様式での提出とします。】 ※登録証の確認をしますので、必ず持参してください。届いていない方は、スマートフォン等でログインしてもらい確認作業を行います。 ⑤ 更衣室にて着替え ⑥ 実技 担当ゲーム ⑦ インストラクターからのアドバイス ※5分程度 ⑧ 終了後は、感染予防対策として退館してください。※チーム関係者を除く。 ※研鑽で体育館に残る場合は、予防対策の徹底をお願いします。 ⑨ C級合格者・D級受講者へは後日、TeamJBAへの申込方法等を北空知地区よりメール配信します。 ⑩ C級合格者・D級受講者はTeamJBAでの申込・受講料入金をして更新手続き完了です。
特記事項	・実技を行いますので、レフェリーウェア、ホイッスル(※ホイッスルカバー着用)・運動靴をご持参ください。 ・ホイッスルカバーは市販の物や、市販の使い捨てマスク等を使用した手作りのものでかまいませんが、 必ず着用 をお願いします。 ※ホイッスルカバー作り方で検索すると作成方法が出てきます。 ・新型コロナウイルス感染症の関係で、実施内容に変更が生じる場合があります。その際は、速やかに受講者へ連絡します。
合否	C級は、受講後【実技 8点(20点満点)以上】に合格が付与されます。D級は、合否はありません。
注意事項	・登録証を忘れずにご持参ください。 ・実技時以外は、マスクの着用をお願いします。 ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、こまめな手洗い・うがい・消毒の励行をお願いします。 ・【別紙】健康チェックシートを当日提出をお願いします。(5月22日～ 起床時体温を記入) ・健康チェックシートがない場合、講習会には参加できませんのでご了承ください。 ・講習会4日前からは1日でも37.5℃以上の発熱があった場合は、講習会の参加はできません。 ※その際は速やかに下記の連絡先へ電話にてキャンセルの連絡をお願いします。 ・会場は、土足厳禁となりますので、必ず靴袋をお持ちください。 ・ゴミは各自持ち帰り下さい。くれぐれも敷地内に置いていかないようお願いします。 ・敷地内は禁煙です。
問合せ	〈申込及びキャンセルの連絡先〉 北空知地区バスケットボール協会 審判委員会 河原 康利 TEL : 090-3398-5239 Mail : toy-story@mta.biglobe.ne.jp

【健康チェックシート】北空知地区C・D講習会（実技） 6月5日、6日

本健康チェックシートは、各バスケットボール協会が開催する研修・講習会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、各バスケットボール協会は、厳正なる管理のもとに保管し講習会運営関係者の健康状態把握、参加可否の判断および必要なご連絡のためのみに利用します。また、個人情報保護法の法令に於いて認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し講習会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には必要な範囲で保健所に提供することがあります。

〈基本情報〉

フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日
氏名		電話番号				
		Eメール アドレス				
住所	〒					

〈講習会当日までの体温〉

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
5/22(土)		5/26(水)		5/30(日)		6/3(木)	
5/23(日)		5/27(木)		5/31(月)		6/4(金)	
5/24(月)		5/28(金)		6/1(火)		6/5(土)	
5/25(火)		5/29(土)		6/2(水)		6/6(日)	

〈講習会2週間前における健康状態〉

※該当するものに「✓」を記入してください。

	チェック項目	✓
①	平熱を越える発熱がない	
②	咳（せき）、のどの痛みなどの風症状がない	
③	だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④	嗅覚や味覚の異常がない	
⑤	体が重く感じる、疲れやすいなどがない	
⑥	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧	過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または、当該者との濃厚接触がない	
⑨	講習会4日前からは1日でも37.5℃以上の発熱がない	
⑩	その他、気になること（以下に自由記述）	

※ 講習会4日前からは1日でも37.5℃以上の発熱があった場合は、講習会の参加はできません。

※ 終了後、2日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告し、濃厚接触者の有無についても報告する。

（講習会参加者が未成年の場合） 保護者確認欄

保護者 氏名

電話番号

Eメールアドレス

確認日

西暦

年

月

日

〈講習会受付時体温〉

/	()	℃
---	-----	---

正確なテーブルレポート

ゲームをスムーズに運営するためには、一緒によりよいゲーム作りを行う仲間である「テーブルオフィシャルズ」との協力が欠かせません。ゲームで起きたことを正確に記録し管理していくためにも、テーブルオフィシャルズと積極的にコミュニケーションをとり連携していきましょう。

そのために本年度は、「**正確なテーブルレポート**」を意識して取り組んでいきましょう。

（１）テーブルオフィシャルズ（TO）との連携、協力

TOとは常にコミュニケーションをとります。何か困っていることがないか、わからないことはないか、審判が気を配り声をかけることでミスが減り、お互いに安心してゲームを進めていくことができます。

（２）テーブルレポートのポイント

TOがレポートを受けることができる状態か、急いだり、焦ったりしていないかなど、TOの状況を把握してからレポートを行います。何かテーブルで問題が起きていたり、TO間で別のことを確認しているときに審判がテーブルレポートを終えてしまうと、誰のファウルなのか、得点が入ったのか伝わらずにミスにつながります。

慌てずに、落ち着いた状態でテーブルレポートを行います。

①スコアラーとアイコンタクトを取ってから ②声を使ってレポート

最も重要なことは自身の判定がスコアラーにはっきりと正しく伝わることです。

シグナルは、**顔の高さ**で示します。特に、プレーヤーの番号は、スコアラーから見えやすいように体から離し、必ず声を使って示します。

※顔の高さ→自身の顔の前に指がかぶらないように少し肘を開くイメージ



トレイルにおけるレフェリーディフェンスの理解

正確な判定を下すためには、レフェリーするものを明確にする必要があります。
ディフェンスが見えるポジションを取り、イリーガルなアクションに注目してレフェリーします。
本年度は、「**トレイルにおけるレフェリーディフェンスの理解**」に意識をもって取り組んでいきましょう。

間違った位置取り



● オンボール時、**インサイドアウト**に近いポジションでディフェンスを見ていると次のプレー（ショット、ドライブ）をカバーできなくなる。ただしボールの位置がサイドラインに近くスペースがないときは、コート内にポジションを取ることもある。

図のように、正しいポジションに移動したとしても、すでに次のプレーに移っているために正しい判定ができなくなるので、十分なタイミングをもってポジションアジャストする。リードオフィシャルがミッドラインを越えて右に位置していない場合は、特に注意しなければならない。

正しい位置取り



- オンボール時、体の角度を45°にし、**アウトサイドイン**でディフェンスを見ることが出来るポジションをとり、プレーに合わせ、予測し、十分なタイミングをもってポジションをアジャストする。（プレーがおきるひとつ前のタイミングで良いポジションに移動）
- 次に起こりうるプレー（ショット、ドライブ）をカバーするためのポジションをとる。
- プレーヤーがリングにドライブを始めたとき、そのドライブは逆にステップ（**クロスステップ**）をすることでオープン・ルックを確保する。
- **ボールマンのつま先を視野に入れるようにし**、3or2の確認も含め、正しい位置どりを意識する。

スクリーンプレーの理解

バスケットボールにおける「スクリーンプレー」とは、バスケットボールの基本戦術の一つとして、チームで連携してノーマークのプレーヤーを作るプレーとして非常に有効なものです。

ボールマンに対してスクリーンをかけるオンボールスクリーンは、最も基本的なスクリーンの形です。そこから発展して、「ピック・アンド・ロール」などのプレーにもつながります。

ボールのないところで行われるオフボールスクリーンには、大変多くのパターンがあります。

審判としてルールを理解は当然ですが、判定をしていくうえで、バスケットボール技術（スクリーン）の理解を深めることも、審判技術を向上させるために、大切な要素になります。

動きの速いバスケットボールのゲームの中では、審判の判断にゆだねられることが多いのも事実です。スクリーンを行う側、それを守る側、両方の視点で適切に判定することが求められます。

本年度は、「**スクリーンプレイの理解**」を重点的に確認し取り組んでいきましょう。

